

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校1年 教科 生活 など

Padletを活用し、簡単に秋紹介!

使用するアプリケーション等
・ Padlet
・ SKYMENU

単元・題材 たのしい あき いっぱい

本時の目標 秋の自然と自分の関わりを振り返り、夏の様子と比較して違いや特徴を見つけ、身近な自然の四季の変化や、季節によって生活の様子が変わること気づくことができる。

ICTを活用することで できること

- ・児童が見つけた夏のもを画像として記録しておくことで、夏と秋のもの比較が簡単にできる。
- ・児童が見つけた秋のもを一度にすべて表示することができる。
- ・padletの「いいねボタン」を活用することで、自分の好きな秋のもを簡単に表現できる。
- ・学校で見つけられないものや、写真を撮れなかったものも、画像検索などで簡単に紹介できる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ① 観察カードを振り返り、自分が見つけた秋のものや体験を思い出す。
 - 学校内だけでなく、学校外で見つけたものも思い出す。

2 展開

めあて 見つけたあきをたくさんともだちにつたえよう。

- ① 班の人と見つけたものを伝え合う。
 - 感想カードに友達が見つけた秋のものや体験を簡単に書く。
 - 友達の見つけたものと自分の見つけたものを比べ気付いたことを話し合う。
- ② 自分の見つけたものを全体に紹介する。
 - 観察カードや、実物を書画カメラでモニターに映す。
- ③ 夏に見つけたものと比べ、夏から秋に変わること様々なことが変化していることに気付く。
 - 比較してどのような違いがあるか班で話し合う。
 - ものだけではなく、そこで生活する自分にも注目する。

3 まとめ

まとめ きせつが かわって、はっぱのいろや みつけられる虫の しゅるいが かわった。あきになると さむくなって、わたしたちの ふくや せいかつも かわった。

- ① 秋にしかできないことを考える。
 - 秋に見つけたものを使った遊びを考える。
- ② 振り返りをする。
 - 感想カードなどに記入する。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 端末のカメラで撮影しておいた秋の画像を振り返る。
 - 様々な種類のもを振り返ることができるように **継続的に撮影、記録**する。
 - **すぐに何の写真わかるようにフォルダー分けしておく。**
- ② 観察カードを見て自分の秋の体験を思い出す。

2 展開

めあて 見つけたあきをたくさんともだちにつたえよう。

- SKYMENUの電子連絡版にPadletのリンクを貼って、ログインできるようにしておく。
- ① Padletに自分の見つけた秋のもの画像を載せる。
 - 誰が送ったかわかるように、タイトルは出席番号にする。
 - 文字入力ができる児童は、**簡単な説明を記入**する。
 - グループごと決まった場所に画像を載せるようにする。
 - ② 画像を見ながら秋のものについて話し合う。
 - 友達の見つけたものと自分の見つけたものを比べ、気付いたことを班で話し合う。
 - **写真は撮れなかったものは、絵に描いて、それを撮影して画像を載せるか、画像検索をして貼る**ようにする。
 - * 実際に見つけたものと区別するために、色分けをしておく。
 - **自分のお気に入りの秋のものには「いいねボタン」を押す。**
 - ③ 夏に見つけたものと比べ、夏から秋に変わること様々なことが変化していることに気付く。
 - 「なつが やってきた」の単元で使ったPadletを、モニターに映すか 児童がログインできるようにする。

3 まとめ

まとめ きせつが かわって、はっぱのいろや みつけられる虫の しゅるいが かわった。あきになると さむくなって、わたしたちの ふくや せいかつも かわった。

- ① 秋にしかできないことを考える。
 - 秋に見つけたものを使ったあそびを考える。
- ② 振り返りをする。
 - 感想カードなどに記入する。
 - **課題が終わった児童は作りたい秋のおもちゃの作り方を子供用検索サイトを利用して調べる。**



* このPadletは別単元で使用したものです。



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・班での活動を増やすことで、どの児童も自分の見つけた秋のものを紹介することができた。
- ・前単元のもを活用することで、夏と秋の比較が簡単にできた。
- ・Padletで表示することで、教員も児童も時間をかけずに見つけた秋を知ることができた。
- ・Padletだけを活用すると、児童の小さな気づきを見逃してしまう可能性があるため、観察カードを併用して授業を行うとよい。
- ・検索機能は便利だが、そればかりに頼ってしまい授業のめあてから離れてしまうことがあるので、使う場面は限定するとよい。